

令和7年度（2025年度）

# クラス分け員対象 コンプライアンス研修 アンケート結果報告

対象

 公認クラス分け員

回答数

 29件

作成目的

 研修の効果検証と次年度改善への示唆

作成者

一般社団法人日本ボッチャ協会



## 基本情報

回答数

29 件

設問数

17 項目

評価方式

 5段階評価

+ 自由記述



評価スケール: 5 (最も良い) ~ 1 (最も悪い)

## 分析フレームワーク



01

研修内容の理解度

Q1 - Q9

研修全体の評価および各章の理解度を確認し、知識の定着度を測定します。



02

コンプライアンス意識

Q10, Q12

受講による意識の変化や、行動規範への意識の強さを重点的に測定します。



03

研修運営・満足度

Q14 - Q16

オンライン形式、事前案内、当日の進行など、総合的な満足度を評価します。



04

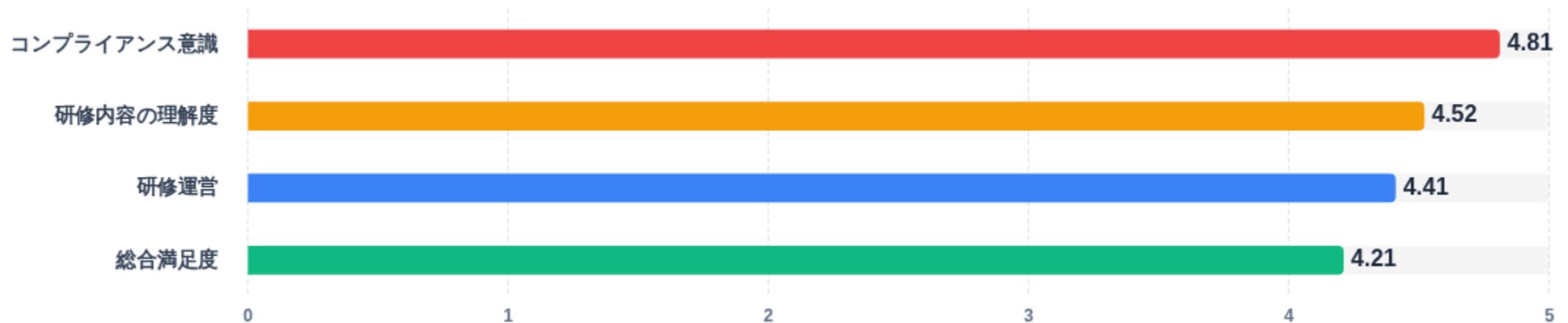
定性分析 (自由記述)

TEXT MINING

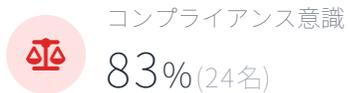
回答理由のテキストマイニングとテーマ分類を行い、数値では見えない声を拾います。



カテゴリ別平均スコア比較 (5点満点)



## 評価分布ハイライト (評価「5」の割合)



💡 意識が満足度を大幅に上回る傾向 (運営・体験面に改善余地あり)

### 📊 Q10: コンプライアンス意識

重要目標

平均スコア

# 4.83

最高評価(5)率

## 83%

最小スコア

## 4.0



評価 5 (83%)  
評価 4 (17%)

- ✔️ 受講を通じた意識醸成は極めて高い水準で達成。全員が4以上と回答しており、研修の核心的目標はクリアされている。

### 😊 Q16: 総合満足度

体験品質

平均スコア

# 4.21

高評価(4-5)率

## 65.5%

標準偏差

## 0.98



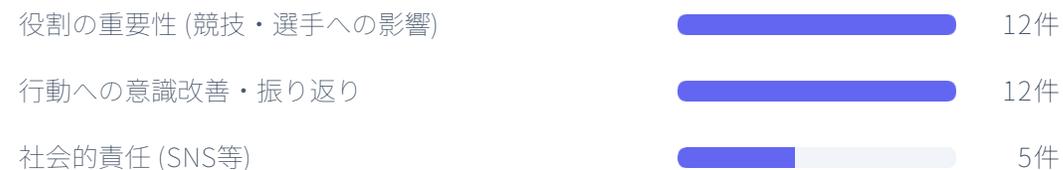
評価 5 (34%)  
評価 4 (31.5%)  
その他 (34.5%)

- ⓘ 全体的に良好だが、意識スコアと比較すると運営や体験面での改善余地を示唆。特にグループワークの運営が影響か。

## Q11: コンプライアンス意識向上理由



## Q13: 行動規範を意識する理由



## “ 代表的な受講者の声

責任ある立場において、安易に個人の思いや考えで行動することが、協会自体への多大な不利益になることを改めて実感させられた。”

コンプライアンス意識について

具体的な事例を挙げてご説明をいただいたので、理解しやすかったです。事例ベースの解説は実践に役立ちます。”

研修内容について

SNSなど情報が簡単に蔓延してしまう時代であり、1度広まると収集がつかなくなってしまいうため、言動により一層の配慮が必要と感じた。”

行動規範について

クラス分け員としての活動が、選手の競技を楽しんで行えるかに関わると感じたため、常に責任を持って行動したい。”

役割の重要性について

## ◎ 次年度 (R8) KPI目標

R7実績 → R8目標

測定指標	R7 実績	R8 目標
回答数 / 受講率	98%	100% ↑
コンプラ意識	4.81	4.85 ↑
最高評価率 (5点)	83%	85% ↑
通報制度認知率	100%	100% _
総合満足度	4.21	4.30 ↑
研修満足度	93%	95% ↑
重大事案件数	0件	0件 _
研修理解度	4.52	4.60 ↑

### コンプライアンス意識

4.81 / 5.0

受講者の意識変容を促進。  
83%が最高評価。

### 研修内容の理解度

4.52 / 5.0

具体的な事例解説が理解度向上に大きく貢献。

### 総合評価サマリー

意識向上に効果的で、今後の行動変容が強く期待できる。

グループワーク運営の課題はあるものの、研修の核心的目標は達成。

### ✂ 要望

#### 👥 GW運営の改善

共有画面設定の工夫  
議論時間の延長検討  
各ルームへのファシリ配置

#### 📖 内容の更なる充実

より身近な事例の拡充  
定期的な事例検討会の開催

#### ⚙️ 運営の最適化

他資格の研修と重複受講への  
内容検討

### ▶▶ 次のアクション (R8計画)



#### 運営方法整備

ファシリテーター配置  
事前リハーサルの実施



#### 「ケースバンク」の整備

具体的事例をデータベース化し、  
次回の教材として活用。



#### 定期研修の継続実施

意識の風化を防ぎ、最新事例を共有する  
場として定着。

